

在宅医療のための多職種研修会キックオフシンポジウム 医療的ケア児の保育の “これまで”と“これから”をつなぐ

2025年11月29日(土)10:00-12:00

勇美記念財団助成金補助事業

医療的ケア児の保育を共に考えあう場づくりとして…

2021年に医療的ケア児支援法は施行されました。全国的に医療的ケア児を受け入れ、保育を営もうとする保育現場等が増え始めている段階です。しかし、環境設定の課題や、園内における保育者と看護師の連携の難しさ、地域の関係者との連携など難しい課題にぶつかることも多い実践現場です。

そこで、今回、そのような保育現場における保育者さんたちを応援するために本シンポジウムを設定しました。日本の北部である青森県、真ん中あたりの東京、南部の沖縄県で出会った医療的ケア児保育の関係者同士が、医療的ケア児保育で行なっていること、困っていることなどを話しあう場を設けることになりました。今後目指すのは、医療的ケア児を保育している保育現場の保育者や園内看護師、園医、園長、調理員、栄養士といった多職種間の連携です。そして、各地域の取り組みを知るための現地視察を含めた交流の場を実現し、お互いの情報・意見交換を行えるプラットフォームづくりを目指しています。

ぜひとも、これからの子どもたちの社会づくりを考えるキックオフシンポジウムとしてご参加をお待ちしております。

あきやまこどもクリニック

医師:秋山 千枝子



新宮団地こども園

園長:木村 重介



こちんだこども園

園長:仲間 明



にじいろ保育園管理

兼高田保育園園長:山上 華奈子



※上記の話題提供者に、それぞれの現場で現在取り組まれていることをお話しいたします。

※本シンポジウムの企画者である仲本美央(白梅学園大学子ども学部教授)、田中真衣(白梅学園大学子ども学部准教授)、中山祐一(北海道教育大学養護教育専攻准教授)がこれまでに取り組んできた研究知見に基づき、それぞれの現場における取り組みの意義とこれからの在り方についてお話しします。

◆申し込み方法

裏面QRコード「受付フォーム」よりお申込みください。シンポジウムのご案内、資料に関する連絡は、Eメールアドレスを使用します。「nakamoto@shiraume.ac.jp」のメールの受信許可をいただくようお願いいたします。

◆会場:白梅学園大学J26講義室またはウェビナー参加

◆参加料:無料(会場参加は100名)

◆申込受付期間:2025年10月28日(月)10時～11月27日(木)16時まで

◆対象者:保育・教育・福祉職に就いている人、医療的ケア児の保育にご興味・ご関心のある方